

幸区災害対策協議会帰宅困難者対策部会の取組状況

帰宅困難者対策部会

(1) 目的

幸区における大規模災害時の帰宅困難者対策について協議・検討等、訓練を行う。

(2) 構成団体

交通事業者、帰宅困難者一時滞在施設、警察、商業関係団体、企業等

(3) 第 1 回部会

ア 日時：平成 28 年 7 月 26 日（月）14 時～

イ 場所：幸区役所 4 階第 3 会議室

ウ 主な議題

(ア) 平成 28 年度幸区帰宅困難者対策訓練の実施

(イ) 災害時における各事業所間の連絡体制の確保

(4) 第 2 回部会（川崎駅西口帰宅困難者対策訓練）

ア 日時：平成 28 年 10 月 26 日（水）15 時～

イ 場所：川崎駅西口～幸市民館

ウ 主な訓練内容等

(ア) 川崎駅西口から幸市民館までの「徒歩訓練」

a 「国道 409 号線」ルート〔川崎駅西口⇒堀川町交差点⇒幸市民館〕

b 「国道 1 号線」 ルート〔川崎駅西口⇒都町交差点⇒幸市民館〕

(イ) 「情報受発信拠点」と「駅・帰宅困難者一時滞在施設」の「情報伝達訓練」

a 鉄道施設への影響と駅前の滞留者状況について、川崎駅に無線で確認

b 帰宅困難者一時滞在施設の被害状況と受入体制について、無線で確認

(ウ) 各事業所での「安否確認等訓練」

a 施設従業員の安全確保と安否確認

b 施設の安全点検

c 帰宅困難者の発生抑制

エ 訓練の実施による成果と課題

(ア) 成果

a 案内サインがあることは、全く町を知らない人にとっては、とても役に立つと思う。

b 国道 1 号線と比べると 409 号線は歩道が広いので、避難路として良い。

(イ) 課題点

a 案内サインは情報が集約されている反面、何の目的で設置されているのか分かりにくい。

b 案内サインの設置数を多くした方が良いと思う。

c 歩道幅は、高齢者や障害を持った方、小さい子供連れの方などへの対応が重要だと思う。



案内サイン

(5) 今後（平成 28 年度）の予定

ア 第 3 回部会（平成 29 年 2 月 20 日（月））

帰宅困難者対策訓練を通じた歩道環境状況の調査 等